



## 2022年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年3月2日

上場会社名 ナトコ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4627 URL <http://www.natoco.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 粕谷太一  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 山本豊 TEL 0561-32-2285  
 四半期報告書提出予定日 2022年3月17日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年10月期第1四半期の連結業績 (2021年11月1日～2022年1月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年10月期第1四半期	4,731	8.7	338	△33.9	371	△33.9	275	△35.2
2021年10月期第1四半期	4,353	6.5	512	71.6	562	70.4	424	109.2

(注) 包括利益 2022年10月期第1四半期 309百万円 (△37.1%) 2021年10月期第1四半期 491百万円 (167.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年10月期第1四半期	36.51	—
2021年10月期第1四半期	56.33	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年10月期第1四半期	25,766	20,670	80.2
2021年10月期	26,280	20,595	78.4

(参考) 自己資本 2022年10月期第1四半期 20,670百万円 2021年10月期 20,595百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年10月期	—	29.00	—	31.00	60.00
2022年10月期	—	—	—	—	—
2022年10月期 (予想)	—	24.00	—	26.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年10月期の連結業績予想 (2021年11月1日～2022年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	9,000	0.5	500	△51.3	530	△53.7	350	△58.6	46.40
通期	19,100	0.3	1,460	△27.9	1,520	△31.4	1,030	△37.2	136.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年10月期1Q	8,144,400株	2021年10月期	8,144,400株
② 期末自己株式数	2022年10月期1Q	600,992株	2021年10月期	600,992株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年10月期1Q	7,543,408株	2021年10月期1Q	7,543,447株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2021年11月1日～2022年1月31日)における世界経済は、新たな変異ウイルスの感染拡大に加え、資源価格の高騰やサプライチェーンの混乱等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

わが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種の進展や行動制限の緩和などにより、景気の緩やかな持ち直しの動きが見られましたが、新たな変異ウイルスの感染拡大により不透明な状況となっております。

このような状況のもと、当社グループは絶えず独創的、革新的な研究と技術力の向上に努め、付加価値の高い製品の開発を行うとともに、社会全体をより良くすることを第一に、環境、品質、機能において常に優れた製品、サービス、情報を提供することに努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,731百万円(前年同期比8.7%増)となりました。一方、利益面におきましては、原油などの資源高に伴う原材料価格の高騰や物流コストの上昇などの影響により、営業利益338百万円(前年同期比33.9%減)、経常利益371百万円(前年同期比33.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益275百万円(前年同期比35.2%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①塗料事業

金属用塗料分野では、工作機械、農業機械、物流機器を中心に意匠、機能性塗料の採用が増えたことや、中国で水性塗料を中心に新規ユーザーの開拓が進み、堅調であったことで、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。建材用塗料分野では、主力外装建材ユーザーの高耐久商材向け塗料、内装建材向けの抗ウイルス塗料の需要が増えたことにより、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。セグメント利益は、原材料価格の高騰や物流コストの上昇などの影響を受け、前年同期に比べ大きく減少いたしました。

この結果、塗料事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は2,798百万円(前年同期比7.4%増)、セグメント利益は169百万円(前年同期比48.6%減)となりました。

#### ②ファインケミカル事業

モビリティ(自動車関連)向けのコーティング剤の需要は、比較的旺盛であったものの、コロナ禍におけるリモートワーク需要が一服したことで、PCやタブレット等の情報家電向けのコーティング剤の需要が減少したことにより、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。セグメント利益は、原材料価格の高騰や物流コストの上昇などの影響を受けたものの、高付加価値製品の販売が伸びたことで、前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、ファインケミカル事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は792百万円(前年同期比2.9%減)、セグメント利益は256百万円(前年同期比3.2%増)となりました。

#### ③シンナー事業

新規ユーザーの獲得やコロナ禍の生産調整からの回復傾向で出荷量が増加したことにより、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。セグメント利益は、原材料価格の高騰などの影響を受け、前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、シンナー事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は1,139百万円(前年同期比22.3%増)、セグメント利益は74百万円(前年同期比4.8%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は17,918百万円となり、前連結会計年度末に比べ427百万円減少いたしました。これは主に原材料及び貯蔵品が69百万円、その他流動資産が125百万円増加したものの、現金及び預金が383百万円、受取手形及び売掛金が210百万円減少したことによるものであります。固定資産は7,848百万円となり、前連結会計年度末に比べ86百万円減少いたしました。これは主に繰延税金資産が63百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は25,766百万円となり、前連結会計年度末に比べ513百万円減少いたしました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は4,566百万円となり、前連結会計年度末に比べ417百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が61百万円増加したものの、未払法人税等が346百万円、賞与引当金が160百万円減少したことによるものであります。固定負債は529百万円となり、前連結会計年度末に比べ172百万円減少いたしました。これは主に役員退職慰労引当金が177百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は5,095百万円となり、前連結会計年度末に比べ589百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は20,670百万円となり、前連結会計年度末に比べ75百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益を275百万円計上した一方で、配当金の支払233百万円があったことで利益剰余金が41百万円増加したことと、為替換算調整勘定が48百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は80.2%（前連結会計年度末は78.4%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年12月15日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,832,874	7,449,533
受取手形及び売掛金	5,651,375	5,440,472
電子記録債権	794,853	754,551
有価証券	1,200,000	1,200,000
商品及び製品	1,134,081	1,138,668
仕掛品	35,619	54,722
原材料及び貯蔵品	757,487	826,621
前渡金	11,355	—
その他	934,347	1,059,717
貸倒引当金	△6,058	△5,663
流動資産合計	18,345,935	17,918,623
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,576,919	3,179,757
機械装置及び運搬具(純額)	1,197,916	1,639,848
土地	1,743,380	1,743,380
その他(純額)	1,374,830	359,214
有形固定資産合計	6,893,046	6,922,200
無形固定資産		
投資その他の資産	320,617	327,871
投資有価証券	446,191	422,342
繰延税金資産	116,129	52,389
その他	162,651	127,166
貸倒引当金	△3,777	△3,777
投資その他の資産合計	721,194	598,120
固定資産合計	7,934,858	7,848,192
資産合計	26,280,794	25,766,815
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,302,766	3,363,871
電子記録債務	68,365	78,788
未払法人税等	393,308	46,652
賞与引当金	273,584	113,566
役員賞与引当金	42,300	8,525
その他	902,790	954,629
流動負債合計	4,983,114	4,566,033
固定負債		
繰延税金負債	6,987	11,108
役員退職慰労引当金	366,647	189,234
退職給付に係る負債	101,483	100,826
その他	226,860	228,672
固定負債合計	701,978	529,841
負債合計	5,685,093	5,095,874

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年1月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,626,340	1,626,340
資本剰余金	3,316,538	3,316,538
利益剰余金	15,349,734	15,391,317
自己株式	△516,339	△516,339
株主資本合計	19,776,273	19,817,857
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	168,342	154,416
為替換算調整勘定	637,620	685,897
退職給付に係る調整累計額	13,463	12,769
その他の包括利益累計額合計	819,426	853,084
非支配株主持分	—	—
純資産合計	20,595,700	20,670,941
負債純資産合計	26,280,794	25,766,815

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年1月31日)
売上高	4,353,804	4,731,401
売上原価	3,123,629	3,643,730
売上総利益	1,230,175	1,087,671
販売費及び一般管理費	717,534	748,769
営業利益	512,640	338,901
営業外収益		
受取利息	988	976
受取配当金	5,544	7,015
為替差益	37,825	10,445
物品売却益	5,562	10,991
その他	3,013	3,549
営業外収益合計	52,935	32,979
営業外費用		
支払利息	0	0
売上割引	2,661	—
その他	84	32
営業外費用合計	2,746	32
経常利益	562,828	371,847
特別利益		
固定資産売却益	1,799	0
補助金収入	11,841	—
保険解約返戻金	—	28,608
特別利益合計	13,640	28,608
特別損失		
固定資産処分損	1,607	11,372
固定資産圧縮損	7,004	—
特別損失合計	8,612	11,372
税金等調整前四半期純利益	567,857	389,083
法人税、住民税及び事業税	83,482	34,742
法人税等調整額	59,457	78,912
法人税等合計	142,940	113,654
四半期純利益	424,917	275,428
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	424,917	275,428

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年1月31日)
四半期純利益	424,917	275,428
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,572	△13,925
為替換算調整勘定	62,930	48,276
退職給付に係る調整額	1,045	△693
その他の包括利益合計	66,549	33,657
四半期包括利益	491,466	309,086
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	491,466	309,086
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、従来は営業外費用に計上しておりました売上割引については、売上高から減額しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,869千円減少し、売上総利益及び営業利益は2,869千円それぞれ減少しておりますが、営業外費用も2,869千円減少したため、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用しております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の決算短信の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年11月1日至2021年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	塗料事業	ファインケ ミカル事業	シンナー 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	2,605,607	816,199	931,997	4,353,804	—	4,353,804
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,941	—	54,748	58,690	△58,690	—
計	2,609,549	816,199	986,746	4,412,494	△58,690	4,353,804
セグメント利益	330,574	248,536	78,567	657,678	△145,038	512,640

(注) 1. セグメント利益の調整額△145,038千円は、セグメント間取引消去6,457千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△151,496千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年11月1日至2022年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	塗料事業	ファインケ ミカル事業	シンナー 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	2,798,738	792,780	1,139,882	4,731,401	—	4,731,401
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,035	—	81,499	85,535	△85,535	—
計	2,802,774	792,780	1,221,381	4,816,937	△85,535	4,731,401
セグメント利益	169,817	256,585	74,798	501,201	△162,300	338,901

(注) 1. セグメント利益の調整額△162,300千円は、セグメント間取引消去3,484千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△165,784千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(収益認識に関する会計基準等の適用)

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、報告セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。当該変更により、従来の方によった場合と比較し、当第1四半期連結累計期間の塗料事業の売上高は2,784千円減少、セグメント利益は2,784千円減少し、シンナー事業の売上高は84千円減少、セグメント利益は84千円減少しております。